

教科(科目)	国語(現代の国語)	単位数	2単位	学年(コース)	1 学年
使用教科書	東京書籍『新編 現代の国語』				
副教材等	東京書籍『新編 現代の国語 学習課題ノート』、第一学習社『新編 意味から学ぶ常用漢字』、数研出版『力をつける現代の国語』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	○地域社会と積極的に交流することで、各自の興味・関心に基づく課題を見出し、学習活動で得た知識・技能をもとに、論理的に思考し主体的に解決策を見出す能力を育成する。 ○自分の主張を分かりやすく他者へ伝え、異なる主張に対しても、協調的に意見交換しながら合意形成を図ることができる能力を育成する。 ○正解のない問いや、困難な状況に際しても、他者と協力して、粘り強く挑戦し続ける態度を育成する。 ○自分のよさや強みを自覚し、うまくいかない状況に際しても、自己をうまく管理する柔軟な態度を育成する。
カリキュラム・ポリシー	○情報端末や、教育サービスを積極的に活用し、すべての生徒が主体的かつ意欲的に学ぶことができる教育活動を展開する。 ○個々の生徒の特性や理解の状況に応じた最適な学びを提供し、かつ生徒が互いに交流しながら協調的に学びあえる授業を行う。 ○地域社会と連携することで、豊かな体験活動の場を設けながら、教科とも連携した探究学習を行う。 ○生徒が自らの学びを振り返るとともに、教師が指導の改善を図ることができる学習評価を行いながら、常に教育活動の質の向上を図っていく。

2 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) ことばが持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3 指導の重点

進学・就職等希望進路が多岐にわたっていることから、

- ① 基本的な言語事項の習得を重視し、特に常用漢字の確実な習得を目指します。
- ② 文章を的確に理解した上で、自分の考え方を確立させることを目指します。
- ③ 更にそれらを的確に表現し、積極的に他者とのコミュニケーションを図る態度を育てます。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、身につけた知識・技能を活用しながら、教師の指示以外でも自ら積極的に発展的な内容に取り組んでいる。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、相手の立場を尊重しつつ自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、学習の見通しをもって思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉を効果的に使おうとしている。

5 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	・ペーパーテストの分析 ・行動の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認	・ペーパーテストの分析 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析	・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析

6 学習計画

月	単元名	授業時数と領域	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	自己を見つめる	5 「B 書くこと」	こそめスープ	・筆者独自の考え方について理解する。 ・人それぞれが持つ意識の世界について、自分の考えをまとめて書く。 ・クラス内で読み合い、考えたことを話し合う。	5	・授業の取組態度 ・ワークシート ・振り返りシート ・単元テスト
5		4 「A 話すこと・聞くこと」	気になるニュースについて話そう	・気になるニュースを選び、複数の情報源から理解を深める。 ・収集した情報から発表の構成を考えて発表メモを作り、班でニュースを発表しあう。	4	・授業の取組態度 ・ワークシート ・振り返りシート ・発表での取組の観察
6	他者に出会う	4 「C 読むこと」	水の東西	・語彙を豊かにするとともに、内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。	4	・授業の取組態度 ・ワークシート ・振り返りシート ・単元テスト
	言葉と生活1	5 「B 書くこと」	分かりやすい説明をしよう	・目的や相手にあった説明をすることの意義を理解する。 ・「自分の学校の行事を説明する」という設定で、ロールプレイを行い、相互評価表などをもとに評価点・改善点などを話し合う	5	・授業の取組態度 ・ワークシート ・振り返りシート ・ロールプレイでの取組の観察
7	視野を広げる	4 「C 読むこと」	無彩の色	・語彙を豊かにするとともに、内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・具体例を押さえながら、灰色に対する筆者の評価とその理由を読み取る。 ・筆者の主張する灰色についての日本文化の特色、伝統色を確認しながら理解する。	4	・授業の取組態度 ・ワークシート ・振り返りシート ・単元テスト

8 9		5 「A 話す こと・聞く こと」	情報を整 理しながら 話し合 おう	・話し合いには種類があること、話し合いの 進め方を工夫することの意義を確認する。 ・グループに分かれて話し合いのロールプレ イを行い、成果と課題を検討する。	5	・授業の取組態度 ・ワークシート ・振り返りシート ・ロールプレイでの取 組の観察
	社会と かわる	7 「B 書く こと」	鍋洗いの 日々	・筆者の体験から、筆者の必死の行動によっ て先輩の料理人たちがどのように変化したか を読み取り、まとめる。 ・今までに調べたり話を聞いたりしたこと のある職業について、仕事の苦労や喜びの体 験談を書いて発表する。	7	・授業の取組態度 ・ワークシート ・振り返りシート ・単元テスト
10	言葉と 生活2	5 「B 書く こと」	新聞記事 を読んで 意見文を 書こう	・「ゲーム依存」について書かれた新聞記事 を観点意識しながら通読する。 ・記事の内容を要約し、構成を考えて意見文 を書く。	5	・授業の取組態度 ・ワークシート ・振り返りシート ・意見文の内容の確 認
11		5 「A 話す こと・聞く こと」	相手に応 じた言葉 の選び方	・敬語の種類について学習し、役割と使いか たを理解する。 ・教科書にあげられた具体例について、どの ように言い換えたらいいかを班で話し合う。	5	・授業の取組態度 ・ワークシート ・振り返りシート
	世界と つなが る	5 「C 読む こと」	美しさの 発見	・語彙を豊かにするとともに、内容や構成、論 理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・具体例をもとに筆者が「美しさの発見」につ いてどのように考えているかを読み取る。	5	・授業の取組態度 ・ワークシート ・振り返りシート ・単元テスト
12		8 「B 書く こと」	りんごの ほっぺ	・出来事の順序に着目しながら、戦時下の人々 の状況と、筆者の思いを読み取る。 ・題名にこめられた筆者の思いについて考え たことをまとめる。 ・戦争体験を語り継いでいくことの意義につ いて意見を書く。	8	・授業の取組態度 ・ワークシート ・振り返りシート ・話し合いでの取り 組みの観察
1		6 「B 書く こと」	読み手の アドバイ スを生か して紹介 文を書こ う	・情報を収集したり、本文の構成を工夫した りして紹介文を書く。 ・書いた文章をグループ内で評価し合い、良 い点や改善点を見つける。 ・読み手の助言をもとに文章を推敲し、清書 する。	6	・授業の取組態度 ・ワークシート ・振り返りシート ・制作物の内容の確 認
2 3	未来に 目を向 ける	7 「A 話す こと・聞 くこと」	資料を活 用して発 表しよう	・発表にはさまざまな形式があり、目的や相 手に合わせて適切に選ぶ必要があることを理 解する。 ・設定したテーマをもとにグループごとに発 表活動を行う。 ・互いの発表を評価し合い、良い点や改善点 を見つける。	7	・授業の取組態度 ・ワークシート ・振り返りシート ・発表での取り組み の観察

計 70 時間 (50 分授業)

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A 「話すこと・聞くこと」 21 時間	B 「書くこと」 36 時間	C 「読むこと」 13 時間
-----------------	------------------------	-------------------	-------------------

※ 増単している場合は、増単した割合に応じた授業時数を確保すること。

7 課題・提出物等

- ・各月に漢字テストがあります。テスト範囲は後日配布されるプリントを参照してください。
- ・単元ごとに、振り返りシートを記入し、提出することとなります。
- ・長期休業中の課題は別途指示します。

8 担当者からの一言

「現代の国語」は、実社会・実生活に生きて働く国語の能力を育成する科目です。実社会に必要な国語の知識や技能を身につけたり、言葉による見方考え方を働かせ、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像する力を伸ばしたり、言葉が持つ価値への認識を深めたりすることなどを目指します。

（担当：桑原一行・小竹裕子）